

だいご 大子

議会だより

目次

令和3年第1回定例会	2～9
令和3年第1回・第2回臨時会	
要望書提出・自治功労者表彰	10
一般質問	11～23
「わくわくわたしの夢」	24



『「お帰りなさい！水郡線」 ～ 水郡線第6久慈川橋りょう見学会 ～』



令和3年第1回定例会

令和3年度 一般会計当初予算

109億円(前年当初比7.3%増)

令和3年第1回定例会が3月3日から3月15日までの13日間の会期で開催され、令和3年度一般会計予算、特別会計予算、人事案件、令和2年度各会計補正予算等、町長提出議案等35件、議員提出議案1件が審議され、原案どおり可決・同意されました。

一般質問には、12名の議員が登壇し、町政に対しての質問、答弁が展開されました。

令和3年度 初予算の5つのポイント

ポイント1



○誰もが安心・安全を実感できるまちづくりを推進する

- ・新型コロナウイルス感染症への対策
- ・災害に強いまちづくりの推進
- ・誰もが安心して暮らせるまちづくりの推進
- ・福祉や健康長寿、生活環境の充実

ポイント2



○次世代を担う若い世代への投資を強化する

- ・小中学生等への教育の充実による未来の担い手の育成
- ・若い世代への支援の充実による町を支える人材の確保

ポイント3



○地場産業の未来を応援し足腰の強い大子町を創造する

- ・農林業や中小企業への支援の強化
- ・就労機会の創出など雇用対策の促進

ポイント4



○民間企業等との連携により部外ノウハウを活用した魅力向上策の刷新を図る

- ・奥久慈の大自然を活かした新たな観光と交流の創生
- ・観光資源の積極的なプロモーションと町全体の魅力向上

ポイント5



○魅力あふれる住み良いまちを創造する

- ・新庁舎建設の推進と行政サービスの質的向上
- ・庁舎移転を見据えた中心市街地の賑わいのあるまちづくりの推進
- ・AIやICTの活用による町民サービスの向上

当初予算って何ですか？

新しい年度（4月から翌年3月まで）が始まる前に、1年間でどれくらいの収入があるか、その収入をもとにして、どのような行政サービスを行うか計画します。その計画した事業の費用の総額を「当初予算」といいます。これらの内容をまとめたものが「予算書」です。大子町に入ってくるお金のことを「歳入」、使うお金のことを「歳出」といいます。

令和3年度 各会計予算

会計別	予算額	前年度比較(△減)
一般会計	109億円	7億4000万円
国民健康保険事業特別会計	22億2110万1千円	△3256万6千円
後期高齢者医療特別会計	2億8585万8千円	1343万7千円
介護保険特別会計	27億2887万1千円	8569万3千円
介護サービス事業特別会計	1200万2千円	216万4千円
浄化槽整備事業特別会計	1億2351万4千円	172万7千円
水道事業会計	9億1587万2千円	1億7036万1千円
総額	171億8721万8千円	9億5069万5千円

令和3年度主な事業

■誰もが安心・安全を実感できるまちづくりを推進する

○新型コロナワクチン接種関連経費【新規】	2236万5千円
○中心市街地排水対策事業【新規】	600万円
○松沼橋改築事業【新規】	5233万円
○大子町土砂災害・洪水ハザードマップ更新業務【新規】	449万4千円
○大子町地域公共交通維持活性化推進支援事業【新規】	149万6千円
○医師確保支援事業補助金【新規】	400万円
○医師修学資金貸付金【新規】	780万円
○災害対応特殊消防ポンプ自動車配備【新規】	4970万円
○(仮称)袋田防災センター建設工事【拡充】	5449万2千円
○木造住宅建設助成事業【拡充】	600万円
○住宅リフォーム助成事業【拡充】	8500万円
○空き家バンクリフォーム助成事業【拡充】	1000万円

■次世代を担う若い世代への投資を強化する

○A I 学習ツール整備事業【新規】	755 万 1 千円
○炊飯施設建設関連経費【新規】	928 万 7 千円
○子育て短期支援事業【新規】	567 万円
○東京 2020 オリンピック競技大会事業【拡充】	1636 万円
○子育て世帯住宅建設等助成金事業【拡充】	1350 万円

■地場産業の未来を応援し足腰の強い大子町を創造する

○町有林植栽業務【新規】	1009 万 3 千円
○小生瀬地区営農計画書作成事業【新規】	390 万円
○タクシーデリバリー応援事業補助金【新規】	349 万 2 千円
○収入保険制度加入促進支援金事業【新規】	400 万円
○中小企業経営者改善支援事業【拡充】	355 万円

■民間企業等との連携により外部ノウハウを活用した魅力向上策の刷新を図る

○サテライトオフィス等進出支援事業【新規】	150 万円
○地域資源を活かした関係・交流人口創出事業【新規】	599 万 4 千円
○まちカフェ交流拠点整備事業【新規】	237 万 2 千円
○大子町 I T 介護支援監理アドバイザー事業【新規】	190 万円
○袋田観瀑施設トンネル内照明改修【新規】	457 万円
○団体旅行誘致促進助成金【新規】	500 万円
○駅舎アートによる水郡線利用促進事業【新規】	490 万円
○観光物産館改修事業【新規】	6063 万 3 千円
○大子研修センター関連経費【拡充】	5590 万 7 千円
○奥久慈サイクルツーリズム事業【拡充】	907 万 1 千円
○道の駅奥久慈だいが周辺イルミネーション装飾業務【拡充】	540 万円

■魅力あふれる住み良いまちを創造する

○新庁舎建設事業【拡充】	12 億 7196 万 1 千円
○新庁舎ネットワーク構築業務【新規】	2084 万 9 千円
○新庁舎議場システム整備工事【新規】	2362 万 8 千円
○キャッシュレス決済導入業務【新規】	26 万 4 千円
○軽自動車税に関する基幹税務システム改修業務【新規】	88 万円
○交流拠点整備事業（都市再生整備計画事業）【新規】	852 万 2 千円
○A I 乗合タクシー実証実験事業【拡充】	899 万 6 千円

このほかに「不法投棄対策事業」などの 20 事業が示され、全体で 87 の新規事業が実施されることになりました。

一般会計補正予算(第10号)の主なもの

歳 入	補 正 額
使用料及び手数料	△1億4486万1千円
国庫支出金	13億8084万8千円
町債	3億9150万9千円

歳 出	補 正 額
大子町区長会補助金	△142万4千円
町外搬出し尿処理汚泥等運搬業務委託料	△7217万1千円
担い手確保・経営強化支援事業補助金	224万1千円
幼稚園、小・中学校感染症対策事業費	880万円
財政調整基金積立金元金	1億円
庁舎建設基金積立金元金	3000万円
し尿処理施設災害復旧事業費	17億8500万3千円

一般会計補正予算(第11号)の主なもの

歳 入	補 正 額
国庫支出金	100万円

歳 出	補 正 額
健康管理システム改修委託等	100万円

特別会計等の主な補正額

特別会計等	補 正 額	補正後の予算額
大子町国民健康保険事業特別会計(第4号)	1億4050万5千円	23億9348万8千円
大子町後期高齢者医療特別会計(第2号)	535万7千円	2億7863万5千円
大子町介護保険特別会計(第3号)	△903万7千円	26億7705万4千円
大子町浄化槽整備事業特別会計(第2号)	△2147万8千円	1億65万2千円
大子町水道事業会計(第5号)[収益的支出]	△1419万6千円	4億8790万1千円
〃 [資本的支出]	229万8千円	3億617万8千円

第1回定例会 提出議案等と審議結果

議案番号	議案名	結果
議案第6号	大子町医師修学資金貸与条例	原案可決
議案第7号	大子町産業活動の活性化及び雇用機会の創出のための固定資産税の特別措置に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第8号	大子町営体育施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第9号	大子町介護保険条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第10号	大子町指定居宅介護支援等の事業の人員及び運営に関する基準等を定める条例等の一部を改正する条例	原案可決
議案第11号	袋田観瀑施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第12号	大子町道路占用料徴収条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第13号	大子町町道の構造の技術的基準等を定める条例の一部を改正する条例	原案可決
議案第14号	大子町土地開発基金条例を廃止する条例	原案可決
議案第15号	大子町武藤文化福祉基金条例を廃止する条例	原案可決
議案第16号	町有林林産物の売払いについて	原案可決
議案第17号	大子駅前駐車場の指定管理者の指定について	原案可決
議案第18号	袋田観瀑施設の指定管理者の指定について	原案可決
議案第19号	大子温泉保養センター森林の温泉の指定管理者の指定について	原案可決
議案第20号	大子町観光物産館の指定管理者の指定について	原案可決
議案第21号	大子北デイサービスセンターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第22号	大子町営研修センターの指定管理者の指定について	原案可決
議案第23号	大子町教育委員会教育長の任命について	原案同意
議案第24号	令和2年度大子町一般会計補正予算（第10号）	原案可決
議案第25号	令和2年度大子町国民健康保険事業特別会計補正予算（第4号）	原案可決
議案第26号	令和2年度大子町後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第27号	令和2年度大子町介護保険特別会計補正予算（第3号）	原案可決
議案第28号	令和2年度大子町浄化槽整備事業特別会計補正予算（第2号）	原案可決
議案第29号	令和2年度大子町水道事業会計補正予算（第5号）	原案可決
委員会報告 第1号	常任委員会審査報告（予算・決算委員会）	

議案第30号	令和3年度大子町一般会計予算	原案可決
議案第31号	令和3年度大子町国民健康保険事業特別会計予算	原案可決
議案第32号	令和3年度大子町後期高齢者医療特別会計予算	原案可決
議案第33号	令和3年度大子町介護保険特別会計予算	原案可決
議案第34号	令和3年度大子町介護サービス事業特別会計予算	原案可決
議案第35号	令和3年度大子町浄化槽整備事業特別会計予算	原案可決
議案第36号	令和3年度大子町水道事業会計予算	原案可決
議案第37号	大子町し尿処理施設災害復旧事業し尿処理施設建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第38号	大子町新庁舎建設工事請負契約の締結について	原案可決
議案第39号	大子町教育委員会委員の任命について	原案同意
議案第40号	令和2年度大子町一般会計補正予算（第11号）	原案可決
選挙第1号	茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員の一般選挙について	当選 齋藤忠一
議員提出議案 第1号	大子町議会会議規則の一部を改正する規則	原案可決

大子町教育委員会教育長に松本成夫氏を再任

大子町教育委員会教育長の松本成夫まつもと せいお氏が、令和3年3月31日で任期満了となるため、引き続き同氏を任命することに同意しました。任期は令和3年4月1日から令和6年3月31日までです。

大子町教育委員会委員に旅澤有代氏を任命

大子町教育委員会委員の神賀美紀かみき氏が、令和3年3月20日で任期満了となるため、後任に旅澤有代たびさわ くとよ氏を任命することに同意しました。任期は令和3年3月21日から令和7年3月20日までです。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員に齋藤忠一議長を選任

令和3年3月19日に任期満了となる、茨城県後期高齢者医療広域連合議会議員選挙が今定例会で行われ、指名推薦により齋藤忠一議長が再任されました。

茨城県後期高齢者医療広域連合議会は、県内の市町村議会議員から選出された議員で構成され、広域連合の予算や条例などを審議・決定する機関です。

予算・決算委員会による令和3年度当初予算の審査

令和3年度当初予算（議案第30号から議案第36号まで）については、今回から予算・決算委員会に付託され2日間にわたり審査が行われました。

審査終了後の採決の結果、すべての議案について原案どおり可決されました。なお、議案第30号令和3年度大子町一般会計予算の採決では、委員1名の退席がありました。

予算・決算委員会での主な質疑（一部を抜粋して掲載しています）

一般会計予算審査

◎総務費

問 商店街賑わい創出事業の委託料（100万円）の内訳は。

答 カフェ・キッチン50万円、体験型ワークショップ30万円、ミニマルシェ50万円の合計130万円の見積もりを査定し、地域おこし協力隊卒業者に100万円で委託する。〔まちづくり課〕

◎民生費

問 高齢者世帯等火災報知器配置事業（12万1千円）の対象者と目的は。

答 おおむね65歳以上の独り暮らし又は高齢者のみの世帯、重度障がい者のいる世帯で、住宅用火災警報器の未設置世帯及び町民税の非課税世帯。年間25台予定で、手続きをサポートし、希望者に設置できるよう努めていく。〔福祉課〕

◎衛生費

問 不法投棄対策関連経費が予算計上されたが、撤去に向けては何か動きがあったか。

答 注意看板30万円、監視カメラ設置182万7千円を予算計上した。県北県民センターと連携してパトロールを実施し、撤去については他町村の状況を調査して対応したい。〔生活環境課〕

◎農林水産業費

問 中心市街地排水対策事業の水路の長さと同面積は。

答 災害発生を防止するため愛宕町町堀から押川へ農業用水路を改修し放流する。測量設計600万円を計上。長さは300メートル、用地測量は12,000平方メートルを想定している。〔農林課〕

◎商工費

問 奥久慈サイクルツーリズム事業費（約900万円）の内訳は。

答 事業費の主な内容は、振興公社に委託するレンタサイクル運営費350万円、アプリを活用したプロモーション委託費350万円、旅行会社へ提案するモニターツアー運営委託費100万円ほか。〔観光商工課〕

◎土木費

問 松沼橋改築事業は、令和6年度に完成する予定だがどのような年次計画か。

答 国の久慈川緊急治水対策プロジェクトによる改修事業で、当初概要によると、令和2年度が調査測量・地質調査・予備設計、令和3年度が測量・設計・補償・橋の撤去、令和4年度が用地買収・下部工、令和5年度が下部工・上部工・交差点改良、令和6年度が交差点改良の予定である。〔建設課〕

◎消防費

問 令和元年度東日本台風災害記録集を配布する範囲は。

答 予算額150万円で記録集を300冊作成し、各地区防災会や関係機関等への配布を予定している。ホームページへの掲載や概要版の配布も検討している。〔総務課〕

特別会計予算審査

◎国民健康保険事業

問 ジェネリック医薬品の啓発は行われているか。

答 保険証交付時にチラシ配布や街頭キャンペーン、医療費通知送付の際に同封している。利用率は、令和元年度80.02%、2年度79.2%、年間で351人利用している。〔町民課〕

◎水道事業会計

問 窓口受付等包括的業務委託の効果はどう試算しているか。

答 お客様センターの設置によるサービスのさらなる向上、最大900万円の経費削減、収納率の向上が見込まれる。〔水道課〕

令和3年第1回臨時会

令和3年第1回臨時会が1月21日に開催され、町長から提出された議案4件について原案どおり可決されました。

第1回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第1号	大子町観光物産館改修工事請負契約の締結について	原案可決
議案第2号	(仮称)袋田防災センター建築工事請負契約の締結について	原案可決
議案第3号	大子町過疎地域自立促進計画の変更について	原案可決
議案第4号	令和2年度大子町一般会計補正予算(第8号)	原案可決

一般会計補正予算(歳出)の主なもの

・新型コロナウイルスワクチン接種事業費	1億179万3千円
・果樹病害虫一時支援金給付事業補助金	129万円
・町飲食店応援事業業務委託料	850万円
・ホテル旅館業・飲食店等事業継続応援支援金	1650万円
・成人祝補助金	300万円
・し尿処理施設災害復旧事業費	11億2181万円

令和3年第2回臨時会

令和3年第2回臨時会が2月12日に開催され、町長から提出された議案1件について原案どおり可決されました。

第2回臨時会 提出議案と審議結果

議案番号	議 案 名	結 果
議案第5号	令和2年度大子町一般会計補正予算(第9号)	原案可決

一般会計補正予算の概要

新庁舎建設工事に係る耐久性や防犯性を高めるための費用を増額したもので、補正額は次のとおりです。

新庁舎建設事業費 工事請負費	3930万円
----------------	--------

新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書を提出

4月2日に「新型コロナウイルス感染症対策に関する要望書」を町に提出しました。今回が2回目となる議会からの新型コロナウイルス感染症対策に関する要望は、長期にわたる移動自粛、三密防止対策による健康不安の解消、ワクチン接種が安心してできる医療機関との連携強化、コロナ禍の影響による経済的不安の解消などに関して次のとおり要望しました。



【要望事項】

1. 医療機関と連携し、万全なワクチン接種体制を構築すること。
2. 町民に公平な経済支援が行き届くよう、これまで同様に、国、県の支援策への働きかけと補完を行うこと。
3. 長期にわたる健康・生活不安を軽減するため、町民への一律の生活支援を講じること

茨城県町村議会議長会自治功労者表彰の伝達

町議会議員として多年にわたり地方自治の振興発展に寄与された功績により、今回5名の方が茨城県町村議会議長会から自治功労者表彰を受けられました。

3月定例会の3日開議前に議場において伝達式が行われ、受賞された4名の方には齋藤議長から、齋藤議長には金澤副議長から表彰状が手渡されました。



被表彰者（議員在籍12年以上）

写真左から

- 鈴木陸郎議員
- 金澤真人議員
- 齋藤忠一議員
- 藤田 稔議員
- 大森勝夫議員

議会タブレット動き出す

議会運営の新たな取組としてタブレットを導入しました。

今後、会議資料のペーパーレス化やWeb会議などさまざまな場面で活用するため、各議員に1台ずつ貸与されました。



令和3年第1回定例会

町政に

ここが聞きたい!これを言いたい!

12名の議員が一般質問!!

質問内容	ページ	質問者
将来を見据えた学校適正配置は 支援対象外の方々へ町独自の支援策を	P.12	藤田 稔 議員
認知症診断の助成制度導入を	P.13	野内 健一 議員
感染収束後の活性化策は 電動キックボードで商店街散策客の増を	P.14	大森 勝夫 議員
コロナ禍における町民支援策は 高齢者の認知症対策について ふるさと納税の現状と今後の展望は	P.15	川井 正人 議員
町の人口減少問題は	P.16	鈴木 陸郎 議員
まちづくりにSDGs導入を 水郡線利用促進に協力するため景観整備を	P.17	菊池 靖一 議員
成人のつどいの今後の方向性は 利用者目線の行政サービスを コロナワクチン接種に向けて十分な準備を	P.18	福田 祥江 議員
ごみ集積所補助金制度の見直しを ハイキングコースの整備状況は	P.19	須藤 明 議員
新庁舎の内装に特産品の使用を 地域産材八溝材のブランド化を図る	P.20	中郡 一彦 議員
新庁舎の建設費抑制の考えを伺う 久慈川緊急治水対策プロジェクトについて 大子まちなかビジョン推進協議会について	P.21	金澤 真人 議員
更なる、AIタクシーの推進を 高齢者等の利便性に向けた運行の拡充を 迷いなくスムーズな避難が行えるためにも	P.22	飯村 剛 議員
幸せのまちづくりのための施策は 観光事業の推進策と支援は	P.23	菊池 富也 議員

一般質問とは・・・

定例会において、議員が町民の代表として、行政全般にわたり町の考え方や施策の進ちょく状況、将来における施策方針等をただすことです。

また議員は、町長等の答弁を受け、疑問をただすことはもとより、町民の立場に立った事務事業の改善や政策提言をすることも、議員の重要な権限です。

スマホで議会中継を見ませんか!

定例会及び臨時会のすべてを生中継するとともに、閉会後は録画配信も行っています。スマートフォンでも見るができます。

※一般質問者ページ下部にあるQRコードにより、質問者を検索することができます。



ホームページから 議会中継 クリック



スマートフォンから



問 将来を見据えた学校適正配置は

答 行政は一方的に進めない



藤田 稔 議員

【藤田】町の出生数の推移並びに児童生徒数と令和2年度の地区別の出生数は。さらに、小・中学校の児童生徒数と複式学級の発生状況を伺う。

【町民課長】平成27年度より30年度まで、77名、57名、73名、70名。令和元年度51名、2年度2月末で37名、3月までに5名の母子手帳交付がされている。地区別では、大子6名、依上7名、佐原0名、黒沢1名、宮川7名、生瀬2名、袋田・池

田15名、上小川3名、下小川1名である。令和2年5月1日現在、小学校6校で537名、中学校4校で310名。複式学級は、佐原小、生瀬小は継続して、上小川小は令和3年度以降、依上小は令和7年度以降、生瀬中は、令和10年度以降発生する見込み。

【藤田】将来を見据えた大子町立小・中学校の適正配置の検討について伺う。

【教育長】地域住民や保護者の十分な理解と協力を得て、地域とともにある学校づくりの視点を踏まえた丁寧な議論を行うことが大切と考える。

【藤田】町の教育環境は。

【教育委員会事務局長】国のGIGAスクール構想に基づき一人一台の端末の整備が進んでいる。次年度は

AI、人工知能型教材により、児童・生徒一人一人の習熟度に合わせて、AIが最適な問題を出題する授業が進められる。

【藤田】若い世代の定住促進策をどう考えているか。

【町長】継続事業を進め、新規で、子育て短期支援事業を拡充として、建売住宅も助成金の交付対象とする事業を予定している。



児童生徒1人1人の習熟度にあわせた授業

支援対象外の方々へ町独自の支援策を

【藤田】複合災害に備えた感染症対策、資機材の確保、避難所の開設や運営等の状況を伺う。

【総務課長】感染症対策用品、備品等の購入を進めている。「新型コロナウイルス等感染症対策における避難所運営に関する指針」を策定し、避難所運営体制等の強化を図っている。

【藤田】コロナ感染拡大の影響を受けている地域経済や住民生活を支援し、地域創生を図るために国から支給される地方創生臨時交付金総額は。感染拡大の影響で中止や延期になった事業の財源の使途を伺う。

【財政課長】総額で5億1039万2千円となっている。事業の財源は4703万円の減額補正を行い財政調整基金に積み立てる。

【藤田】コロナウイルス感

染症の影響で失業、休業等生活資金で悩んでいる方への支援策を伺う。

【福祉課長】緊急小口資金は、コロナ感染症の影響を受けて学校等の休業、個人事業主等特例の場合は20万円以内、その他は10万円となる。据え置き期間は1年以内、償還期限は2年以内で無利子となる。総合支援資金は、同様に貸付上限が2人以上の世帯で月20万円、単身世帯の場合は月15万円、どちらも3月貸付でき、据え置き期間は1年以内で、償還期限は10年以内、無利子となる。申請窓口は町の社会福祉協議会が受け付けている。

【藤田】県独自の緊急事態宣言の中で、支援の対象とならない事業者等へ町独自の支援策は考えられるか。

【観光商工課長】県状況を把握した上で、支援の対象にならなかった方の立場に立ち考えて参りたい。

問 認知症診断の助成制度導入を

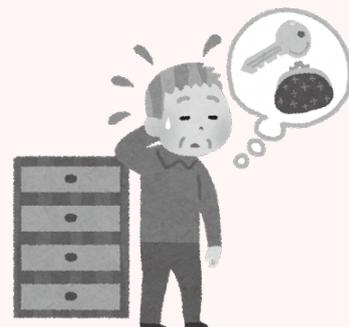
答 費用負担に町民全体の理解必要



野内健一 議員

全体の理解をいただいた上で、進めなければいけないのも事実であると思う。

【野内】 神戸市の場合、市民税に超過課税を導入して実施している。大子町のような小さな自治体の場合は、大変難しいと思うが、認知症というものを町民全体で対処する姿勢は、未来に向けた取り組みであろうと考える。ぜひとも、大子町での実施を願う。



【野内】 認知症を患っている人は、軽度認知症（MCI）と診断された人も含めると、全体で約820万人強の人がいると厚労省から報告があり、今から4年後の2025年には現時点より1.5倍の1200万人、10人に1人とのことであつた。このような状況を改善するため大子町も物忘れ（認知症）相談、Dカフェ（認知症カフェ）の開催、大子町認知症ガイド（認知症ケアパス）の発行、認知

症サポーターの養成、認知症初期集中支援チーム配置等を実施しているが、神戸市では平成31年1月から「認知症診断助成制度」という新しい制度が開始された。これは住民の申し込みにより認知症の検査を、診療所や病院で実施するもので、認知症が「ある」「ない」かを判断し、「ある」と判断された人は専門医療機関で病名の診断を行うということであるが、その費用は行政で負担する。認知症は完全に治る病気ではないが、早期に治療が開始されれば認知症の進行に改善がみられるとのことであつた。町はこの事業をどのように考えるか。

【町長】 神戸モデルにおいては、担当者と一緒に調べた。制度そのものは、本当にすばらしい制度であると思う。未然にいろいろなことを診断して、そして自覚してもらつた上で、その病気そのものが悪くなつていくかないように対処していくということ、制度そのものはよいというふうに感じている。

【野内】 この制度で認知症と診断をされた方は、徘徊することによつて発生する自己責任での事故に対する賠償保険に、費用は行政負担で加入することができると。このような制度の導入は可能か。

【町長】 費用負担については、問題がある。正確には覚えていないが、神戸市の一人一人の方が若干の税金を支払い、その財源の中で認知症の確定を行っているということだと思ふ。町民



令和3年度の「認知症カフェ」は、【まいん】で実施。

問 感染収束後の活性化策は

答 地域資源を活かした交流の向上



大森勝夫 議員

その付加価値により、二地域居住に関心のある企業や若者をターゲットに関係・交流人口の創出を図る。実施には総務省の制度を利用し、三大都市圏に所在する民間企業の社員を三年間受け入れ、ノウハウや知見を導入する。

【大森】 拠点となる古民家は、事務所的な活用だけなのか。

【まちづくり課長】 まずは、カフェとして交流拠点に整備する。敷地や建物に余裕があるので、のちにワーケーションの宿泊施設に活用できればと考えている。

【大森】 県内でもサイクリングの盛り上がりを感じている。この事業でサイクリングに関する内容は、

【町長】 集客につながる企画や施設整備をする。サイ

クリングアプリを導入し、コースの確認や、おすすめスポットへの案内、完走後の特典付与など期間型キャンペーンを企画している。町内周遊コースを、観光、食、歴史、キャンプ場宿泊などテーマを盛り込んで企画する。町内の飲食店や事業所に、ラックや空気入れの設置など、受け入れ環境の協力をお願いする。

【大森】 既存施設の山岡草和紙人形美術館は、集客の潜在力が高いと思われる。昨年、和紙で関係の深い美濃市にて、山岡草の和紙人形展を開催し盛況だったと聞く。美術品は、現品の鑑賞が最大の広報効果を生む。それはリピートや口コミが期待できるからである。知名度向上と広報を兼ねて、茨城県内にて和紙人

電動キックボードで商店街散策客の増を

【大森】 電動キックボードを活性化策として検討する自治体が増えている。電動キックボードは短距離を気軽に移動でき、若者の注目も集めやすい。公道走行の場合は、原付一種に属し、運転免許証やヘルメット着用が必須となる。水郡線の完全復旧で駅利用者の増加が見込まれるなか、商店街散策の足として、電動キックボードのレンタル導入を検討してはどうか。

形の展覧会を企画し、大子町に所縁のない人たちにも認知を広げ、新たな交流人口層を開拓してはどうか。**【教育委員会事務局長】** 寄附者である家族の意向は、商業目的の活用は望んでいないと当初聞いている。また、美濃市での展覧会は、先方での展示や管理の全面協力のおかげで実施できた。通常の展覧会では人員や費用負担など課題が発生する。

【観光商工課長】 実際の運用において、安全性などの実証実験が各地で行われている。それらの情報を収集して有効性を検討する。



電動キックボードは市街地の移動に便利

問 コロナ禍における町民支援策は

答 町内状況を注視し推移を見極めていく



川井正人 議員

は。者に該当する、該当しない

【川井】 長期に及ぶ自粛や緊急事態宣言で経済が疲弊し町民一人一人各家庭の収入が減少し影響が長期化している。経済支援に着目し、町内だけで使用可能な町民応援チケットなどを町民に給付する考えは。

【町長】 コロナ禍での有効な手段の一つであると認識はしている

【川井】 コロナ禍でオンライン販売が注目されているが、町のオンライン販売の取組について現状と成果

【観光商工課長】 プラス株の法人向けインターネット販売サイトで特産品販売を開始した。また、特産品流通公社ホームページ内に通販売サイトの立ち上げを行っている。販売実績は、

スマートオフィスサイトではりんごジュースを中心に23件、茨城県お取り寄せサイトでは奥久慈茶を中心に18件、新聞広告については15件の販売実績がある。

【川井】 コロナ感染において濃厚接触者になった場合は保健所から通知がされると思うが、濃厚接触者とされなかつた場合は保健所から何らかの指示、通知はあるのか。また、町としてそういう方に対しての対応は。

【健康増進課長】 濃厚接触

の判断は保健所が感染者本人に行動歴、他者との接触状況、マスク着用の有無などを聞き取り判断する。濃厚接触者に該当しない場合は保健所からの連絡、指示は無い。当町に感染者が出たと県から発表された場合、不安や心配になる方を考慮して平日のほかに発生直後の土日においても電話による健康相談に応じている。感染不安がある方には、状況を聞き症状があればかかりつけ医への受診や保健所への相談を紹介するなど対応している。

高齢者の認知症対策について

【川井】 高齢者の認知症発症の大きなリスク要因とし

て加齢性難聴があげられている。また、難聴はコミュニケーション障害の原因となり社会的孤立や鬱を引き起こす要因となる。治療として補聴器が必要となるが高額なため購入が難しいの

が現状である。購入補助制度の導入を要望するが町の考えは。
【町長】 現状では財源含め非常に難しい。大変な深刻な問題との認識はしている。

ふるさと納税の現状と今後の展望は

【川井】 ふるさと納税の現状と今後の方針は。

【財政課長】 ここ数年4000万円から5000万円前後を推移。新たに「企業版ふるさと

4万9000円）、令和元年度で25位（7084万40000円）

を始める。

【川井】 令和元年

度茨城県内のふるさと納税受入額の順位は、1位境町（30億6600万円）2位日立市（29億7200万円）である。大

子町の順位は。

【財政課長】 平成

30年度で44自治体中25位（487

寄附額 29,000円以上

TEL 5799-0519 常設

樹上完熟奥久慈りんごセット

奥久慈りんごは樹の上で完熟させて収穫する「樹上完熟」のりんごです。町外では買うことのできないりんごの美味しさを味わってください。奥久慈りんごジュースは新鮮な奥久慈りんごを100%使用した無添加のストレートジュースです。

大子町のふるさと納税返礼品の一例

寄附額 15,000円以上

TEL 5799-0491 常設

奥久慈しゃも肉詰め合わせ

問 町の人口減少問題は

答 町の魅力をアピールしていく



鈴木陸郎 議員

組織によるし尿処理を行っている。

【鈴木】 地域おこし協力隊の事業導入による効果と定住者は何名か。

【まちづくり課長】 漆や大子那須楮の生産技術の伝承や研究、フィルムコミッションなど7名が定住し、定着率は44パーセントである。

【鈴木】 何を期待して隊員募集をしているのか。

【まちづくり課長】 外から目線による新たな魅力情報発信によって、関係人口や交流人口の創出に期待している。

【鈴木】 コロナ終息後に地方移住希望者があると期待されるが、受入体制の検討はあるか。

【まちづくり課長】 移住、交流専門員の配置など窓口

を設置したい。

【鈴木】 働く世代の人に大子町へ移住してもらうために、農業や林業、観光業などに、まちづくり課を中心として、農林課、観光商工課でひとつのチームをつくるなどの受入案をつくる考えはあるか。

【町長】 縦割りでは解決しない横の連携を図り、連絡を取り合いながら発信できるようにしたい。

【鈴木】 コロナ終息後の観光事業はどのような戦略か。

【観光商工課長】 20代から40代の女性旅行者、登山、サイクリング、トレイルランニング等の旅行者、外国人観光客を取り込む考えである。

【鈴木】 滝や温泉に依存する観光から地域資源を活かすべく検討実施してはどうか。

か。

【町長】 サイクリングやロングトレイル（県北振興局）などで、大子町の資源をアピールできることになった。

【鈴木】 耕作放棄地で山菜の栽培や教育委員会で保存指定している初原サクラ草園を検討してはどうか。

【町長】 元気なまちづくりチャレンジ事業があるが、頑張る民間を行政が支援している。

【鈴木】 2040年の児童生徒数は何人と推計しているか。

【教育委員会事務局長】 平成30年度の資料では、5才

から9才までが202人、

10才から14才までが250人となっている。



【菊池】2015年に国際サミットで採択された「誰もが格差なく可能性を發揮できる安全で安心な家庭や地域や国の仕組みをつくるための持続可能な行動目標（SDGs）」が採択された。

未来をつくる道具、地方創生



SDGs（エスディーズ）17の目標



菊池靖一 議員

SDGsとして、自治体や企業などが注目し、すでに多くの自治体を取り入れている。大子町もSDGsを取り入れてはどうか。

「まちづくり課長」町の第2期総合戦略において、地方創生の取組をSDGsの

問 まちづくりにもSDGs導入を
答 地方創生の取組を理念に沿って進める



理念に沿って進めるため、関連するSDGs開発目標を施策ごとに表記して、SDGsを原動力とした地方創生の推進を図るものとなる予定である。

水郡線利用促進に協力するため 景観整備を

【菊池】水郡線は、大子町にとって水害からの復興の象徴ともいえる存在なので、利用促進には、町も積極的に協力していく必要があると考える。町を縦断する久慈川と久慈川に沿って走る水郡線は町の活性化に欠かせないものである。しかし、近年は竹や木々が成長し、車窓からの眺めを遮ってしまっているため、遮るものを伐採したり花木を

【町長】美化に関しては大切な問題だと思っっている。町内の美化活動についても啓発活動を行って、民間の方

植えたり、「奥久慈清流ライン」にふさわしい景観にするための事業を考えられないか。

【建設課長】久慈川は、現在令和6年度までの期限内で、緊急治水対策プロジェクトが実施され、堤防の整備、河道掘削、支障木の伐採といった事業が進められる予定となっている。景観への配慮が必要な事業が発生してきた際には、国土交通省へ町からも積極的に働きかけをしていく。

にも協力をいただき行政としても頑張る努力はしていきたい。ただ、行政としては、花だけということではなく、全ての年代の方が全て充足できるように事業に優先順位をつけてやるべきものと考えている。



復興の象徴 全線開通した水郡線

問 成人のつどいの今後の方向性は

答 感染の状況等を考慮して決定する



福田祥江 議員

〔福田〕 現在延期となっている成人のつどいの予定、その際のPCR検査費用の再助成について方向性を伺う。

〔教育委員会事務局長〕 開催においては新型コロナウイルス感染症の状況等を考慮し決定していくが、現時点では未定である。検査費用の助成は感染状況、ワクチン接種の進ちよく状況などを勘案して判断する。
〔福田〕 難しい判断だとは思いますが対象者は様々な準備

があるので実施の際には早めに連絡が必要と考える。また、感染に不安がある状況の時はPCR検査費用の再助成を希望する。

〔町長〕 感染リスクの低い時期に早い段階で案内をして開催したい。ワクチンの接種状況によっては感染のリスクが減らない可能性がある。PCR検査費用の再助成も視野に入れていく。

利用者目線の行政サービスを

〔福田〕 新庁舎移転に伴い各課の配置が変わる。来庁者の利便性向上のため、※コンシェルジュや総合窓口の設置に対する考えを伺う。

〔総務課長〕 行政改革懇談

会からも意見があった。どのような形になるか分からないが設置をして、来庁者の案内を一元的かつ包括的に行っていくたい。

〔福田〕 内閣官房―T総合戦略室において、死亡・相続ワンストップサービスの施策を掲げている。住民の死亡に伴う手続きをワンストップで行うお悔やみ窓口の設置については検討しているか。

〔総務課長〕 システム改修などの課題がある。現時点では職員の育成、マニュアルの整備を進め、各担当課へ案内する方式での円滑化を推進していく。

〔福田〕 利用者目線での様々な行政サービスの向上がこの町の価値を高めるものと考ええる。今後も色々な検討を希望する。

※コンシェルジュとは、利用者の要望を聞き、代行や案内、援助をしたりする人のこと

コロナワクチン接種に向けて十分な準備を

〔福田〕 新型コロナウイルス感染症の収束の第一歩として期待されるワクチン接種であるが、副反応の情報をもどのように伝えるのか。

〔健康増進課長〕 副反応の情報を正確に伝えると共に2回接種することで重症化を防ぐことや発症を防ぐ効

果が95%と高い事も伝え、リスクと共に受けることのメリットも考えてもらえるよう努める。

〔福田〕 ワクチン専用冷凍庫の停電対策は。

〔総務課長〕 無停電電源装置の貸し出しと茨城県建築業協会大子支部への協力要請について協議をすすめている。

〔福田〕 障害者、高齢者、交通弱者への支援について伺う。

〔総務課長〕 みどり号の増便、車椅子の方には全額助成のタクシー利用助成券の発行を考えている。



コロナワクチン保管用の冷凍庫～万全の体制を～

問 ごみ集積所補助金制度の見直しを

答 見直しの検討をする必要がある



須藤 明 議員

〔須藤〕 ごみの総排出量を人口で割った町民一人当たりのごみの排出量は増加傾向にある。この状況を町はどう捉え、今後どのように減少に向けて取り組んでいくのか。

〔生活環境課長〕 ごみの分別により可燃ごみの減量化を図るとともに、生ごみ処理機等の利用促進の啓発や容器包装廃プラスチック類の回収、雑紙専用袋の導入による分別資源化等を推進している。また、地域に出

向きごみ分別出張講座、小学校での出前授業など、ごみ減量化への啓発活動を行ってきた。引き続き可燃ごみの減量化及び資源化率の向上に努めてまいりたい。

〔須藤〕 大子町にごみ集積所設置補助金交付要綱が制定されているがいつ制定されたものか。

〔生活環境課長〕 平成元年4月1日に大子町ごみ集積所設置費補助金交付要綱が制定されている。

〔須藤〕 30年以上一度も改正されていないということ、補助金は据え置かれ変わっていないという事である。現在は、高齢者や空き家の増加によって十分なごみ集積所の管理が行き届かない状況にある。現行の補助金制度の見直しが必要であると思うが如何か。

〔生活環境課長〕 補助金は集積所に要した費用の2分の1以内の額とし、5万円を限度としている。平成元年以降変わっていないので、町民の負担増を考慮すると見直しの検討をする必要があると思われる。

〔須藤〕 町民負担の軽減をさらに進めていただきたいが、町長の所見は。

〔町長〕 負担を軽くしていったほうが良いのではないかと今判断している。課長の答弁のように見直しをして、後で報告したいと考えている。

ハイキングコースの整備状況は

〔須藤〕 大子町には急峻に富んだハイキングコースがあり、多くのハイカーが訪

れている。ハイキング人気を把握するためにもどれくらいハイカーが訪れているのか、またその調査方法を聞きたい。

〔観光商工課長〕 男体山ハイカーを対象にゴールデンウィーク内4日間、11月の紅葉時期に平日1日、休日1日合計2日間、調査業務を委託し、山頂において実施している。

〔須藤〕 1年間を通しての入込み客数は把握しているのか。

〔観光商工課長〕 1年間を通しての入込み客数の把握はしていない。

〔須藤〕 1年間を通じた中

で人数の把握を図る。そのことが観光計画やハイキングコースの整備計画を作成するうえで役立つものと思いが如何か。

〔観光商工課長〕 調査の手段やコスト等を含めて検討したいと考えている。

〔須藤〕 昨年10月末に男体山、湯沢峡を登山したが、台風の影響で杉の倒木や木橋は朽ちて穴が空き、渡るのが危険な箇所が見受けられた。この状況をどう思うか。

〔町長〕 事故に直結するようないことがないように、私のほうも整備に関してしっかりと指導していこうと思っている。



ハイキングコースの整備が急がれる木橋(湯沢峡)

問 新庁舎の内装に特産品の使用を

答 美濃和紙や大子漆を活用したい



中郡一彦 議員

伺う。

【総務課長】 特産品の活用

については活用する考えで進めているが、使用する箇所や範囲については維持管理などを考えて進める。大子漆の使用についてはカウンターや棚の装飾に大子那須楮で作った和紙を家具や

建具の一部に使用したいと考えている。

【中郡】 来庁者の皆様が見られる触れられるという

事は実感が湧き良いと思う。また特産品を展示するコーナーなども設置できれば良いと思うがそういった考えはあるのか伺う。

【総務課長】 入ってすぐの

多目的スペースなどにそういったコーナーが計画できないか打ち合わせをしている。スペースを確保したいと考えてる。

【中郡】 外構工事について

の説明では、高齢者や体の不自由な方のため思いやり駐車場をはじめ一般来庁者用駐車場など約300台の駐車スペースの他、2か所の広場が計画されているがフラワースペースやガーデンスペースは今後計画さ



新庁舎外観イメージ (遠藤克彦建築研究所提供)

れるのか、考えを伺う。

【総務課長】 植栽については将来的な維持管理を考えると、植栽本数や面積をできるだけ抑えた計画で考えたい。

【中郡】 町で制定されている

町木の「ぶな」、町花の「茶の花」の植栽は考えているのか伺いたい。

【総務課長】 選定については、管理の上で難しい点もあるため、慎重に判断したい。

【町長】 外構工事については期間がまだ1年あるので、具体的な提案があれば、前向きに検討する。

地域産材八溝材のブランド化を図る

【中郡】 地場産材である八溝材のブランド化について伺う。本町の新庁舎建設を契機として木造建築の見直しを図られ、国土交通省や茨城県などからの助成補助を受け注目度の高い木造庁



地元製材工場で製材された八溝材

舎建設となった。地場産材である八溝材のブランド化をどう図っていくのか、考えを伺いたい。

【町長】 八溝材ブランド化に関しては、もう一度しっかりとしたデータを取って、品質的に他のものより良いということをアピールして、地元の林業関係者の方や製材業者にとってもメリットになるよう、地域材のPRし、無垢材として、また、重ね材や集成材にしても地場産材の需要拡大を図りたいと考えている。

問 新庁舎の建設費抑制の考えを伺う

答 国・県の支援を活用し町負担縮減を図る



金澤眞人 議員

いは工夫や方策を聞きたい。

【総務課長】 総工費の大半を占める本体工事の縮減に

【建設課長】 令和6年度までの事業実施計画で県内全体で約350億円の事業規模になる。大子町では住宅浸水被害地区を中心に下野宮地区から西金地区まで10か所の整備が予定されている。

【金澤】 国以外の工事費に対するチェック体制も重要と思うがどうか。

【総務課長】 総務課内での担当監督員のチェックと専門的には監理契約を結ぶコンサルタントとの連携確認を充分に取り、コスト及び品質などをチェックする。

久慈川緊急治水対策プロジェクトについて

【金澤】 久慈川緊急治水対

策工事が開始されたが、大子町管内の事業規模と工事個所について伺う。

【建設課長】 令和6年度までの事業実施計画で県内全体で約350億円の事業規模になる。大子町では住宅

【金澤】 国の直轄事業になると思うが、地元業者の直接参入は可能なのか。

【建設課長】 権限代行制度で国土交通省関東地方整備局の久慈川緊急治水対策河川事務所が担当しており関東地方整備局の入札参加資格を有する業者なら参加できる。

【金澤】 大子観光築については久慈川緊急治水対策プロジェクトの進ちよくに応じて計画することだった

たが現時点ではどうか。

【町長】 プロジェクトがまだ確定していないので、内容を理解した上で検討する。

【金澤】 堤防などが整備された後でも築の整備は可能なのか伺う。

【町長】 川に下りていける場所は出来るだけ利用を継続できるように堤防補強を要望しており、全容が見えた時点で着手を検討する

大子まちなかビジョン推進協議会について

【金澤】 まちなかビジョン推進協議会の事業の進ちよく状況を伺う。

【まちづくり課長】 最終となる第3回協議会を経てビジョンを策定して、町のホームページ等で周知していく。国や県が所管する事業もあるのでそれぞれの所管庁へ要望を行っていく。

【金澤】 大子町第6次総合計画とまちなかビジョンはどういった位置関係になる

のか伺う。

【まちづくり課長】 第6次総合計画が基本となり、その下に大子まちなかビジョンや都市計画マスタープランが入る。

【金澤】 久慈川緊急治水対策プロジェクトやまちなかビジョンなど壮大な計画が進行中であるが、町長の考えを聞きたい。

【町長】 計画がきちんと実行できるように、また、スピード感を持って対応するよう努力する。



緊急治水対策で堤防かさ上げ

問 更なるAIタクシーの推進を

答 本格運行に向けて提案していく



飯村 剛 議員

名)の目標値を設定している。

高齢者の利便性 に向けた運行の 拡充を

【飯村】AIタクシーは、あくまでも公共交通の更なる利便性を考えてのことだが、自宅からバス停までの距離が長い方々もあり、特に高齢者などにとっては大変である。今後、町では、乗降場所を増設すると聞いているが。

【飯村】新たな公共交通の導入として、昨年10月から今年9月までの一年間、AIタクシーの実証実験を行っている。周知では、町ホームページ、大子町アプリ、FMだいで、JRの駅、各宿泊施設などと思うが、今後の利用者数等の目標は。

【まちづくり課長】現在は町内287か所設置。増設では、利用者からのアンケート調査や町民等からの要望等を参考にし、バランスを考えて設置をしていく。

【飯村】町民等から運行日数を増やしてほしいなどの

声も多く聞くが。

【まちづくり課長】現在、町内を南北エリアに分けているが、今後は統合しての運行を検討している。

【飯村】今までの実績状況を見て、どのように評価をしているのか。

AI乗合タクシーオンライン予約方法

○AI乗合タクシー専用サイト
※10月1日から利用可能
※当日予約のみ可能

- ①降車場所・乗車場所を入力
- ②乗車人数・希望時間を入力
- ③予約内容が配信される
- ④予約完了
- ⑤乗車場所待機(乗車時に予約者名を伝える)

町民AI乗合タクシー電話予約方法

①予約専用電話 (090-7209-4152) に電話をする

- ②氏名、電話番号、降車場所、乗車場所、希望時間、乗車人数を伝える
- ③オペレーターから乗車可能時間を聞く
- ④予約完了
- ⑤乗車場所待機(乗車時に予約者名を伝える)

※当日予約のみ可能

初めて町民タクシーをご利用の方は、まずお電話をしてみてください。現在の運行日(北部火曜日、南部水曜日)

【まちづくり課長】町民利用の多いときは1日24人の利用がある。夜間用では町民用を上回っており、需要があることを実感している。観光用は現在コロナ禍にあり伸び悩んでいるが、今後も拡充と事業の周知に努めていく。

【飯村】利用頻度が向上に進んでいることだが、今

迷いなくスムーズな避難が行える ためにも

【飯村】現在は至る所で異常気象が発生し、ペットを連れた避難は災害のたびに課題となっている。前回の質問では同行避難の推奨をお願いしたところである。そこで先日報道によると、環境省では避難所でのペットの受け入れが円滑に進むよう、自治体などに態勢整備を強く促す新たな方針を決めたと聞いた。方針についての認識はあるのか。

後の考え方、どのような形を描いているのか。

【まちづくり課長】高齢者等の外出支援や移動利便性の向上による地域活性化、持続可能な公共交通体系の構築のため期待している。今後も、良好な効果が認められることができれば本格運行に向けて提案していく。

リストを作成し、通知することを決めたと聞いている。【飯村】ガイドラインが発表されたら検討するのか。【総務課長】国、県が支援を行った場合、内容を精査した上で、検討していく必要があると考えている。

【総務課長】本年の2月21日の新聞において、自治体に対してチェック

ペット同行避難所、公表を

大規模災害・トラブル回避

自治体に点検リスト通知

先日の報道記事 早く整備することがペットツーリズムの進展になり得る

問 幸せのまちづくりのための施策は

答 五つの重点施策を考えている



菊池富也 議員

を重点施策として示している。安心のまちづくり、ITを活用した教育の充実、森林環境譲与税の活用、地域資源を生かした交流人口の創出、AIタクシー実証実験等に取り組む。

【菊池】 町長は、任期3年目を迎えて、幸せのまちづくりのためにどのような事業を実施し、町の活性化を図っていくのか伺う。まず初めに、令和3年度の新規事業の中に、町長がマニフェストに掲げた「日本一幸せなまちづくり」の施策が見当たらないが、どのような事業を考えているのか。

【町長】 マニフェストについては、4年間のスパンの中で考えている。3年度の当初予算には、5つの項目を重点施策として示している。安心のまちづくり、ITを活用した教育の充実、森林環境譲与税の活用、地域資源を生かした交流人口の創出、AIタクシー実証実験等に取り組む。

【町長】 マニフェストについては、4年間のスパンの中で考えている。3年度の当初予算には、5つの項目

を検討中である。

【菊池】 運営主体が決まっているのは問題がある。学校の管理団体や地域住民へ周知してあるのか。

【まちづくり課長】 駐車場整備については、管理団体も承知している。事業内容は、飲物や特産品の販売、ギャラリイなど観光客の交流拠点に考えている。運営は、町協力隊やカフェを経営できる方にと考えている。

【菊池】 同じような事業名で、旧ゲームセンター跡地（大子駅前栄町）を交流拠点として整備するが、上岡とどう違うのか。また、地域住民への説明は済んだのか。

【まちづくり課長】 上岡は、地域の交流拠点として、一方は中心市街地の整備を目

的としている。なお、地域住民への説明はまだしていない。

【菊池】 次にAIタクシーについて。町のホームページでは、複数の方の乗車、指定乗降場所のみの利用、最短ルートでの利用はできない場合がある等、説明があるにもかかわらず、議会の答弁では、利用しやすい、便利であるなどの回答をしている。大きな矛盾があり、しかもこのコロナ禍の中で相乗りを推奨している。密を避けようとする必要なのに相乗りの実験が必要なのか。

また、利用者も限られて



旧上岡小学校隣接地

いる。実験を延期してもよいのではないか。タクシー券利用助成事業を推進すべきではないか。

【まちづくり課長】 AIタクシーは、路線バスよりも目的地まで自由に移動が可能である。実験を進める。既存事業と新たな移動手段の確保により、利便性の向上を図る。

観光事業の推進策と支援は

【菊池】 コロナ禍の中での観光事業の推進策と支援は。

【観光商工課長】 GOTOキャンペーン等の再開、国の支援策を予定。新年度予算には、町の事業者支援策は予定していないが、状況に応じて補正予算等も考えている。

【菊池】 外国人観光客に対する案内は。

【観光商工課長】 指差し確認シートの活用や看板による案内を進めていきたい。

— 大子っ子の夢、応援しています —

わくわく わたしの夢



大子中学校3年
佐藤 大空さん

私の将来の夢はゲームクリエイターになることです。この職業は、ゲームの制作や開発に携わる職種全般のことを指します。

私の夢は、世界中の人々が笑顔で楽しめるゲームが作れるようになります。ゲームは国や人種や性別に関係なく、一人一人の夢を形にして与え

きつけは、ゲームをしているときの現実とは違った世界観に心惹かれたからです。そしてどんなゲームの世界に引き込まれていきました。多くのゲームと関わるうちに、「自分も人を笑顔にできるゲームを作りたい」と考えるようになり

ました。私は、世界中の人々が笑顔で楽しめるゲームが作れるようになります。ゲームは国や人種や性別に関係なく、一人一人の夢を形にして与え

叶えることもできます。私は自分の夢を現実にできるようなことができることを全力で行い、将来に向けて進んでいきます。

春だより

この桜の名称は「長峰一本桜」といい、後冥賀にある隠れた名所で、地域のコミュニティの場として活用しているそうです。徳川斉昭公も歩いた長峰峠が近くにあることから命名されました。



FM放送の

お知らせ

町議会定例会の一般質問の様子をFMだいで聴くことができます。生放送のほか録音放送もしていますので、是非お聴きください。放送日、時間等はFM放送等でお知らせします。

6月定例会

開催予定

▽2日(水) 開会
▽3日(木) ～6日(日) 自宅審議

▽7日(月) 一般質問

▽8日(火) 一般質問

▽9日(水) 一般質問

▽10日(木) 逐条審議

▽11日(金) 逐条審議

閉会

※詳細は議会事務局にお問い合わせください。

大子町議会

広報委員会

- 委員長 須藤 明
- 副委員長 福田 祥江
- 委員 川井 正人
- 委員 飯村 剛
- 委員 齋藤 忠一
- 委員 金澤 真人

あとがき

少子高齢化に対し様々な施策を執り行う中で、我々は新型コロナウイルス感染症という喫緊に迫る大きな問題に遭遇しました。

新しい生活様式の定着が叫ばれる中、国は施策としてデジタル庁を創設し、国・地方行政のIT化やDX（ITの浸透が人々の生活をより良いものとする）の推進を図っています。

私たち議会議員は急速な進化に遅れることなく果敢に時代の先駆者になっていく必要があると感じます。町民の声をしっかりと聞きながら、現代社会の中で起こる事象をデジタルを通じて的確に捉え、しっかりと伝えていくよう努力してまいります。

(飯村 剛)